

平成28年度県共同募金会配分結果・決算報告

配分結果の報告

平成28年10月から平成29年3月まで実施しました共同募金運動に、県民の皆さまから、11億3,000万円を超えるご寄付をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

平成28年度は、県内573の社会福祉施設・団体から配分申請が寄せられ、公正な配分を実施するため、県共同募金会「配分委員会」の委員が申請施設を現地調査するなど、慎重に査定案を策定いたしました。

同委員会で承認されました配分案は、さらに平成29年3月に開催しました県募金会の理事会・評議員会で最終審査が行われ、下記のとおり共同募金の使途が決定しましたことをご報告いたします。

共同募金運動にご協力いただきました皆さまに、県募金会の事業を引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



平成28年度共同募金・使途概要

▽地域福祉を推進する市区町村社会福祉協議会の活動を支援するために (58団体)	277,653,131円
▽法定社会福祉施設を利用する児童・障がい児者・高齢者を支援するために (158施設)	189,375,441円
▽青少年・障がい者・高齢者・難病当事者・女性保護団体等の活動を支援するために (98団体)	95,909,773円
▽在宅福祉サービスを推進する非営利型福祉団体の活動を支援するために (211団体)	42,730,000円
▽年末たすけあい募金として募集し、市区町村ごとに行う援護や事業のために (58団体)	379,281,819円
▽国内大規模災害時の被災者支援のための災害準備金繰入額として	33,903,000円
▽市区町村ごとに共同募金運動を展開するための募金資材の作成等に	58,060,000円
▽全戸配布用広報資料の作製や小中学生福祉作文コンクールの開催事業等に	83,814,036円
▽公の制度では取り上げられない開拓的・実験的・啓発的な事業を推進する社会福祉団体の活動費	10,000,000円
合計	1,170,727,200円

※上記使途財源には、前年度繰越金等を含みます

一般会計 各サービス区分収支一覧表

社会福祉法人神奈川県共同募金会

自：平成28年4月1日～至：平成29年3月31日

(単位：円)

内 訳	サービス区分名	本 部	寄付金	災害準備金	災害義援金	たすけあい福祉資金	受配者指定寄付金	合 計
＜事業活動による収支＞								
1	収入総額	327,556	1,147,792,748	0	21,805,717	1,072,904	16,991,159	1,187,990,084
2	支出総額	143,027,894	994,950,164	17,510,000	21,805,717	10,765,183	16,479,017	1,204,537,975
3	事業活動資金収支差額(1-2)	△142,700,338	152,842,584	△17,510,000	0	△9,692,279	512,142	△16,547,891
＜その他の活動による収支＞								
収入	サービス区分間繰入金収入	146,194,036	35,073,000	33,903,000	0	0	0	215,170,036
	積立金取崩額	0	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
4	その他の活動収入計	146,194,036	35,073,000	33,903,000	0	10,000,000	0	225,170,036
支出	サービス区分間繰入金支出	0	174,897,036	35,073,000	0	200,000	5,000,000	215,170,036
	積立金積立額	3,032,000	0	0	0	0	0	3,032,000
5	その他の活動支出計	3,032,000	174,897,036	35,073,000	0	200,000	5,000,000	218,202,036
6	その他の活動資金収支差額(4-5)	143,162,036	△139,824,036	△1,170,000	0	9,800,000	△5,000,000	6,968,000
7	当期資金収支差額合計(3+6)	461,698	13,018,548	△18,680,000	0	107,721	△4,487,858	△9,579,891
8	前期末支払資金残高	6,161,733	147,608,984	138,333,000	0	5,769,827	19,009,396	316,882,940
9	当期末支払資金残高(7+8)	6,623,431	160,627,532	119,653,000	0	5,877,548	14,521,538	307,303,049

貸借対照表

社会福祉法人神奈川県共同募金会

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	資産の部			科 目	負債の部		
	平成28年度	平成27年度	増 減		平成28年度	平成27年度	増 減
流動資産	1,120,766,042	1,123,392,388	△2,626,346	流動負債	936,428,993	947,818,448	△11,389,455
預貯金	979,185,908	982,586,358	△3,400,450	事業未払金	7,100,529	3,149,947	3,950,582
有価証券	3,000	0	3,000	開拓啓発事業資金	12,770,100	6,770,100	6,000,000
次年度運動準備金	141,480,000	140,600,000	880,000	未交付配分金	792,679,688	795,765,590	△3,085,902
事業未収金	97,134	206,030	△108,896	預り金	125,333	113,340	11,993
固定資産	374,763,948	382,661,040	△7,897,092	職員預り金	787,343	710,471	76,872
基本財産	9,300,000	9,300,000	0	賞与引当金	3,313,000	2,976,000	337,000
基本財産特定預金	9,300,000	9,300,000	0	災害準備金	119,653,000	138,333,000	△18,680,000
その他の固定資産	365,463,948	373,361,040	△7,897,092	固定負債	47,524,325	44,379,151	3,145,174
車両運搬具	1,995,975	1,995,975	0	退職給付引当金	47,524,325	44,379,151	3,145,174
器具及び備品	3,102,234	3,102,234	0	負債の部合計	983,953,318	992,197,599	△8,244,281
ソフトウェア	380,160	380,160	0	純資産の部			
投資有価証券	0	0	0	基本金	9,300,000	9,300,000	0
長期貸付金	2,000,000	2,000,000	0	その他の積立金	316,364,221	326,311,999	△9,947,778
退職給付引当資産	46,300,000	43,300,000	3,000,000	運営費積立金	47,000,000	47,000,000	0
運営費積立資産	47,000,000	47,000,000	0	支会経費積立金	2,435,000	2,403,000	32,000
支会経費積立資産	2,435,000	2,403,000	32,000	たすけあい福祉資金積立金	266,929,221	276,908,999	△9,979,778
たすけあい福祉資金積立資産	266,929,221	276,908,999	△9,979,778	次期繰越活動収支差額	185,912,451	178,243,830	7,668,621
減価償却累計額	△4,678,642	△3,729,328	△949,314	(うち当期活動増減差額)	△2,279,157	△21,486,915	19,207,758
資産の部合計	1,495,529,990	1,506,053,428	△10,523,438	純資産の部合計	511,576,672	513,855,829	△2,279,157
				負債及び純資産の部合計	1,495,529,990	1,506,053,428	△10,523,438

◇神奈川県共同募金会 ☎045-312-0300 http://www.akihane-kanagawa.or.jp

収支決算の報告 県共同募金会平成28年度収支決算内容を、次の通り報告します。

福祉のうごき

2017年4月26日~5月25日

Movement of welfare

●子ども36年連続減 総人口比12.4%

総務省は4日、4月1日時点の子どもの人数を推計した。外国人を含めた14歳以下の人口は1571万人と前年より17万人減り、過去最少となった。

●サ高住 需給ミスマッチ 事故3,362件

サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)で2015年1月から1年半の間に死亡や骨折等、3,000件以上の事故が報告されたことが朝日新聞の調べで分かった。想定よりも要介護度が高い入居者が多いことが背景の一つとされる。

●過労死・過重労働 神奈川で家族会設立

25日、過労死で大切な人を失った家族らが「神奈川過労死等を考える家族の会」を設立した。首都圏では東京に次ぐ2カ所目。相談、同じ悩みを持つ労働被災者・遺族との交流会、勉強会などを行い、公的支援へもつなげる。

●横須賀市 骨髄ドナーに助成金

横須賀市は、骨髄や末梢(まっしょう)血幹細胞のドナー(提供者)と、ドナーが勤務する企業に助成金を交付する制度を導入した。県内では初めての取り組み。市に住民登録をしているドナーが対象。

●大和市 徘徊高齢者早期発見に向けGPS入りの靴を配布

大和市は25日から、徘徊高齢者の早期発見に役立てようとGPS(全地球測位システム)端末を埋め込んだ靴の無料配布を開始。対象は市内の65歳以上の高齢者。市の「はいかい高齢者SOSネットワーク」への登録が条件。利用料は所得に応じ最大でも月額1,000円程度。

県内47の全ての児童福祉施設が加入する、施設での子どもの養育に携わる職員の研鑽の場「神奈川県児童福祉施設職員研究会(以下、神児研)」が、『お助けアドバイス集』を発行しました。



新任職員の悩みをみんなで考えた『お助けアドバイス集』発行 — 神奈川県児童福祉施設職員研究会

「神児研主催の新任職員研修を毎年約100名が受講しており、神児研として離職を防ぐ取り組みの必要性を感じていました。職員の育成の課題を把握しようとして新任職員を対象に行ったアンケートでは、各施設で研修やチューター制度による職員育成が行われ、先輩職員からのサポートも受けていることが分かりました。そこで既存の取り組みを補うものと検討し、Q&A集の発行に至りました。新任職員を指導する立場の職員にも活用してもらいたいと思います」と、

神児研調査研究委員長の南秀明さん(川和児童ホーム)は話します。10の設問は、新任職員のアンケートで挙げられた悩みから、子どもとの関係、職員・関係機関との連携、セルフケアなど、特に気を付けたいことを選定。設問に対し、40以上の施設から寄せられた約1,000件のA(アドバイス)を厳選し、掲載しています。アドバイス集がより多くの場面で活用されるよう、神児研では広報を進めていくとのこと。各施設と神児研の取り組みにより、離職が減少し、より良い養育、子どもの安心につながることが期待されます。(企画調整・情報提供担当)

神児研調査研究委員長の南秀明さん(川和児童ホーム)は話します。10の設問は、新任職員のアンケートで挙げられた悩みから、子どもとの関係、職員・関係機関との連携、セルフケアなど、特に気を付けたいことを選定。設問に対し、40以上の施設から寄せられた約1,000件のA(アドバイス)を厳選し、掲載しています。アドバイス集がより多くの場面で活用されるよう、神児研では広報を進めていくとのこと。各施設と神児研の取り組みにより、離職が減少し、より良い養育、子どもの安心につながることが期待されます。(企画調整・情報提供担当)

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所

東京都港区高輪 2-19-17-808
Tel 03 (3449) 1771(代) / Fax 03 (3449) 1772
E-Mail yasue@yasue-sekkei.co.jp
URL <http://www.yasue-sekkei.co.jp/>

新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・
アスベスト調査等お気軽にご相談ください

● 印刷の事ならおまかせください

● 用紙・印刷・校正・印刷

● 印刷・校正・印刷

● 印刷・校正・印刷

お気軽にご相談ください!

株式会社 **あんざい**

横浜市港南区下永谷 3-24-29
TEL 045-822-8497
FAX 045-824-1303
mail: anzai@p-anzai.jp